





太陽光発電設備の循環システム分科会

代表者：愛媛大学 社会共創学部 李 賢映 准教授
コーディネーター：愛媛大学大学院 理工学研究科 武部博倫 教授

会員数：9団体

愛媛大学、株式会社工ヌ・ピー・シー、株式会社愛媛銀行、株式会社オオノアソシエーツ、金城産業株式会社、株式会社ガスパル、株式会社クリエネ、四国ガス株式会社、城東開発株式会社 ※50音順

設置の目的	脱炭素社会の実現に向け、太陽光発電設備の導入が進むなか、使用済みとなった太陽光発電設備を、地域で適切にリユース、リサイクル、処分する体制を構築				
目指すゴール	【環境】 環境汚染の保護・資源の循環 【経済】 廃棄物の運搬コスト削減、地域資源の循環 【社会】 社会問題にコミット・安心安全な街づくりの達成				
	主な目的 太陽光発電設備の適切な処理を通じたサーキュラーエコノミーの確立 使用済太陽光パネルは可能な限りリユース・リサイクルし、地域の資源として循環させる				

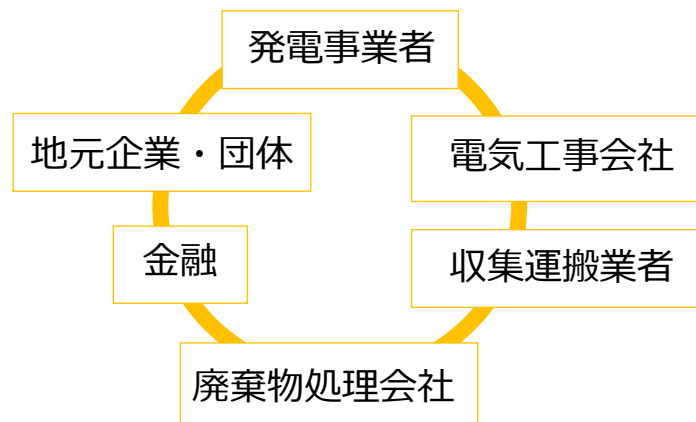
分科会での活動内容と期待される成果

- 活動内容
- ①太陽光パネルのリユース、リサイクルの周知活動
 - ②パネルリサイクルのネットワークを形成し、リユース、リサイクルの実証実験を行う
 - ③分離されたガラスの用途開発
 - ④リユースパネルの活用



期待される成果

- ・使用済み太陽光パネル大量廃棄の社会問題解決
- ・適正処理による循環システムの構築



ゴール達成に向けた指標

太陽光パネルのリユース・リサイクル量(t)
ガラスのリサイクル量(t)